

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
国際アート&デザイン大学校	平成11年1月21日	中野寿郎	〒963-8811 福島県郡山市方八町2-4-1 (電話) 024-956-0040																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人国際総合学園	平成7年3月24日	池田 弘	〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町二番町541番地 (電話) 025-210-8565																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
文化・教養	文化教養専門課程	ペット総合科	平成26年1月28日 文部科学省告示第32号																				
学科の目的	ペット総合科では、ペットに関する美容、トレーニング、及び看護分野での即戦力となる技量を習得するために、企業等との連携によって最新の業界動向を教育課程に取り入れるとともに、より実践的な人材の育成を目的とする。																						
認定年月日	平成28年2月19日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1,914時間	336時間	84時間	1,494時間	0時間	0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
90人	54人	0人	1人	6人	7人																		
学期制度	■前期:4月1日から9月30日まで ■後期:10月1日から3月31日まで		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 年2回の学期末テストを実施。評価点に応じた4段階評価																			
長期休み	■学年始:4月1日から4月10日まで ■夏季:7月27日から8月31日まで ■冬季:12月25日から1月7日まで ■学年末:2月11日から3月31日まで		卒業・進級条件	■総出席率90%以上 ■必須科目の単位取得 ■卒業修了制作が合格																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者への指導者の対応として保護者への連絡と家庭訪問の実施		課外活動	■課外活動の種類 ・ボランティア活動(各種ボランティア活動実施) ・学園祭実行委員会 ・卒業修了制作展運営委員会 ■サークル活動: 有																			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) ドッグトリミング、動物病院、ペットショップ 業界 ■就職指導内容 就職研修会の開催、個別履歴書添削、個別面接指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 ■卒業生数: 21 人 ■就職希望者数: 20 人 ■就職者数: 20 人 ■就職率: 100 % ■卒業者に占める就職者の割合: 85 % ■その他 ・進学者数: 0人 (平成 29 年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士2級</td> <td>③</td> <td>26人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士1級</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>トリマー検定2級</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	愛玩動物飼養管理士2級	③	26人	23人	愛玩動物飼養管理士1級	③	17人	16人	トリマー検定2級	③	23人	23人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
愛玩動物飼養管理士2級	③	26人	23人																				
愛玩動物飼養管理士1級	③	17人	16人																				
トリマー検定2級	③	23人	23人																				
中途退学の現状	■中途退学者 名 0 ■中退率 0 % 平成29年4月1日時点において、在学者44名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者44名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 新入生保護者対象のオリエンテーション個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携																						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 「無利子奨学制度」年額30万円を無利子で貸与し、卒業後の返済により就学の便宜を図っている。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																						
当該学科のホームページURL	http://www.art-design.ac.jp/																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界団体、学術有識者や業界企業などで編成する「教育編成委員会」を設置。業界の専門性に関する動向や産業振興の方向性など、今後必要となる知識、技術技能など十分に把握、分析を行い実践的職業教育に必要な授業科目の開設や授業内容の改善と提案を行い、企業の要請を活かしつつ教育の質の確保と向上に努める。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は現状の教育課程内容を認識し、関係する業界動向を最新の知識、機材、処方等と併せて改善が必要とされる課題を抽出し、新教育課程案を作成する。教育課程編成委員会での意見内容を踏まえて、業界動向、外部環境等に併せた分析、考察を行い総合的に検討評価し、学校長が新教育課程を決定する。新教育課程は次年度以降に反映させる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年9月14日現在

名前	所属	任期	種別
中野 寿郎	国際アート&デザイン専門学校	平成27年9月30日～	③
佐藤 日和	国際アート&デザイン専門学校	平成29年11月15日～	③
五十嵐 一徹	国際アート&デザイン専門学校	平成29年4月1日～	③
横須賀 忠明	株式会社ダイユーエイト ペット事業部長	平成27年4月1日～	①
菊池 明美	一般社団法人全国ペット協会 理事	平成27年4月1日～	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

委員会は原則年2回(毎年5月、11月)開催する。第1回目の委員会では、今年度の基本方針の確認、業界動向とカリキュラム(開催日時(実績))

第1回 平成29年5月19日 13:30～14:30

第2回 平成29年11月24日 13:30～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

当該委員会において、最新のペット業界について意見を聴取し、業界で必要な技術と知識を習得できるようカリキュラムを見直す。また、企業等との連携により実習を行い、トリミング・グルーミングのみならず販売知識やショップ運営、動物看護に関する現場力を向上させ実践的人材教育を行っている。

本年度も夏休み前のトリミング実習の様子を見て、その反省を踏まえて後期のカリキュラムに反映させた。

トリミング実習Ⅰでは6月からはグループで生体のカットを出来るようになり、トリミング実習Ⅱでは、すでに1人で1日に2頭を仕上げる学生も出ている。後期向けには選択授業の違いによるが、仕上がりのばらつきがないように指導を実施した。

<p>2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係</p> <p>(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実践的な技術を習得するために、専門企業と連携した実習内容とする。 2. 実践的な知識を習得するために、専門企業より直接指導を受ける。 3. より実践的な内容を学生へ提供するため、時代と業界のニーズを確認し内容改善に努める。 4. 学校・団体・企業が連携し、地域・社会・国家・国際社会に役立つ実践的職業教育を行う。 <p>(2)実習・演習等における企業等との連携内容</p> <p>企業等との連携により、授業内容や方法、実習・演習等の実施の他、学生の学修成果の評価について連携する。卒業後の即戦力を旨とするため、1年次から企業等との連携により実践的実習を実施して学生へのフィードバックを行う。企業等からの派遣講師によりトリミング実践授業を通して過程と仕上がりに関して評価と改善指導を明確にし評価と改善指導する方針とする。</p> <p>(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トリミング実習Ⅰ</td> <td>1年次ドッググルーミング基礎教科。トリミングの基礎を理解し、シザー、スリッカー等道具使用の基本を身につけ、現場接客に対応できる技術を習得することを目標とする。</td> <td>株式会社ダイユーエイト</td> </tr> <tr> <td>トリミング実習Ⅱ</td> <td>2年次ドッググルーミング授業。1年次に付けた知識と技術を基に、地域から募集のモデル犬でグルーミングを行う。また接客においてもマナーや言葉使い等気を付け対応していく。</td> <td>株式会社ダイユーエイト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			科目名	科目概要	連携企業等	トリミング実習Ⅰ	1年次ドッググルーミング基礎教科。トリミングの基礎を理解し、シザー、スリッカー等道具使用の基本を身につけ、現場接客に対応できる技術を習得することを目標とする。	株式会社ダイユーエイト	トリミング実習Ⅱ	2年次ドッググルーミング授業。1年次に付けた知識と技術を基に、地域から募集のモデル犬でグルーミングを行う。また接客においてもマナーや言葉使い等気を付け対応していく。	株式会社ダイユーエイト			
科目名	科目概要	連携企業等												
トリミング実習Ⅰ	1年次ドッググルーミング基礎教科。トリミングの基礎を理解し、シザー、スリッカー等道具使用の基本を身につけ、現場接客に対応できる技術を習得することを目標とする。	株式会社ダイユーエイト												
トリミング実習Ⅱ	2年次ドッググルーミング授業。1年次に付けた知識と技術を基に、地域から募集のモデル犬でグルーミングを行う。また接客においてもマナーや言葉使い等気を付け対応していく。	株式会社ダイユーエイト												
<p>3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係</p> <p>(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針</p> <p>基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、前年度中に教育課程編成委員会にて連携している企業等からの意見を参考にして研修等の時期と内容を検討し、教員の勤続年数に応じて研修計画を策定して受講させる方針とする。</p> <p>(2)研修等の実績</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「:全国動物専門学校協会 教職員研修会「トリミング教員研修会」(連携企業等:全国動物専門学校協会)</p> <p>期間:平成29年8月23日(水) 対象:1名(うち専任教員数1名)</p> <p>内容:・トリミング検定とトリミングコンテストの実施概要説明 ・トリミング実習時の指導のポイントと留意点(1年生への指導ポイント、進級生(特に卒業間近の学生)への指導のポイント等)</p> <p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「対人コミュニケーションとプレゼンテーション研修」(連携企業等:株式会社アルゴオ)</p> <p>期間:平成29年9月 対象:学科教員</p> <p>内容:対人コミュニケーション力とプレゼンテーション力向上</p> <p>(3)研修等の計画</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「:全国動物専門学校協会 教職員研修会「トリミング教員研修会」(連携企業等:全国動物専門学校協会)</p> <p>期間:平成30年8月28日(火) 対象:1名(うち専任教員数1名)</p> <p>内容:・トリミング検定とトリミングコンテストの実施概要説明 ・トリミング実習時の指導のポイントと留意点(1年生への指導ポイント、進級生(特に卒業間近の学生)への指導のポイント等)</p> <p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「授業力向上研修」(連携企業等:エヌケーテック株式会社)</p> <p>期間:平成30年11月16日(金) 対象:学科教員</p> <p>内容:伝わる授業プレゼン力向上</p>														

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに、任意団体である全国専門学校経営研究会(加盟校:26法人113校)により協議検討を重ねた「自己点検・評価基準」を主に、点検基準表を策定し、学校が委員会等の点検・評価を基に作成し、学校長が再点検の上、学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、教育目的、教育目標
(2) 学校運営	教育の内容・管理運営・改革改善
(3) 教育活動	教育の内容
(4) 学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	学生支援
(8) 財務	管理運営(法人)
(9) 法令等の遵守	管理運営
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価の結果については、学校関係者評価報告書としてまとめ、ホームページ等で公表する。報告書の内容については教職員会において周知するとともに、教育課程編成委員会においても説明することで、学校としての課題と改善の取り組みを共有し明確にする。

今年度の評価では学校全体に対する意見のみであったが、企業等委員の経済団体役員より「地元企業との連携によるインターンシップで地元就職できる仕組み」についての意見を受け、進級時の春休みを利用して、2学年全員で取り組むこととした。ペット総合科としては、連携している各企業をはじめ、地元や東京のトリミングサロン、動物病院にインターンシップの受け入れ協力を依頼して取り組んでいる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年9月14日現在

名前	所属	任期	種別
鈴木 秀明	公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構	平成30年4月1日～	企業等委員
鈴木 賢	株式会社アイ・シー・オー	同上	企業等委員
和知 涉登	国際アート&デザイン大学校 同窓会会長	同上	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.art-design.ac.jp/>

公表時期: 平成30年9月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況」

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当校の教育内容、内部活動、外部活動、資格・コンペ・表彰、また学校経営に係る事項等の実績については、公益法人として、関連団体・関連業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要・教育理念・教育目標
(2) 各学科等の教育	学科別カリキュラム・特色・資格・就職実績
(3) 教職員	専任教員・兼任教員紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・就職指導
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事・対外活動・イベント・施設・設備
(6) 学生の生活支援	各種奨学資金・学生寮・住居紹介
(7) 学生納付金・修学支援	各種奨学資金・学費サポート・特待生制度
(8) 学校の財務	収支決算書
(9) 学校評価	自己点検評価結果
(10) 国際連携の状況	留学生状況・国際提携校・国際交流活動
(11) その他	生涯学習・編入学等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <http://www.art-design.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ペット総合科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職実務Ⅰ	自己分析と職業理解	1通	28	-	○			○		○		
○			飼養管理士概論Ⅰ	愛玩動物飼養管理士2級取得を目標とした授業	1通	84	-	○			○	○	○		
○			造形美術演習	ドッグマネキンを使い立体のスタイルを作り上げる際に必要な観察力を学ぶ	1通	56	-		○		○		○	○	
○			PC実習	パソコンの基本操作とビジネスソフトの使い方を学ぶ	1通	56	-			○	○			○	
○			一般常識	就職や接客に必要な一般常識を学ぶ	1通	28	-	○			○		○		
○			ペット美容概論	各犬体各種のカット、クリッピングの手順、形、ラインなどを学ぶ	1通	28	-	○			○		○	○	
○			POP・イラスト実習	店舗商品の目印となるPOP制作を学ぶ	1通	28	-			○	○		○		
○			コミュニケーション技法	コミュニケーションの方法を学び接客に活かす	1通	28	-		○		○		○		
○			トリミング実習Ⅰ	トリミング技術とグループによるモデル犬対応を通し接客技術を学ぶ	1通	168	-			○	○	○	○	○	○
○			トレーニング演習Ⅰ	動物についての基本的なしつけや訓練の知識を総合的に学ぶ	1通	168	-		○		○	○	○	○	
○			ドッグスタイリスト実習Ⅰ	ペット洋服の制作を行い、ペットに関するデザイン全般を学ぶ	1通	84	-			○	○			○	
○			修了制作	1年生の集大成を企画制作する	1通	180	-			○	○	○	○		
○			就職実務Ⅱ	自己分析と職業理解	2通	28	-	○		○	○				
○			グルーミング実習	トータルなグルーミング技術をモデル犬対応を通し身に付ける	2通	168	-			○	○	○	○	○	○
○			ドッグスタイリスト実習Ⅱ	ペット洋服の制作を行い、ペットに関するデザイン全般を学ぶ	2通	84	-			○	○			○	
	○		トリミング実習Ⅱ	選択専攻Ⅰ：トリミング技術の実践実習	12通	336	-			○	○	○	○	○	
	○		トレーニング実習Ⅱ	選択専攻Ⅰ：トレーニング技術の実践実習	12通		-			○	○	○	○	○	○
	○		飼養管理士1級概論Ⅱ	愛玩動物飼養管理士1級の取得を目指す授業	2通	84	-	○			○	○	○		
	○		販売士概論	販売士検定2級もしくは3級の取得を目指す	2通	56	-	○			○			○	
○			国際デザイン研究	海外の学校訪問で現地のワークショップを実習する	2通	42	-			○		○	○	○	
○			卒業制作	2年生の集大成を企画制作する	2通	180	-			○	○	○	○		
合計					21科目	1,914単位時間(単位)				

卒業要件及び履修方法			授業期間等	
・ 必須科目の単位取得	・ 出席率年間90%以上	・ 卒業修了制作が合格	1学年の学期区分	2期
			1学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。